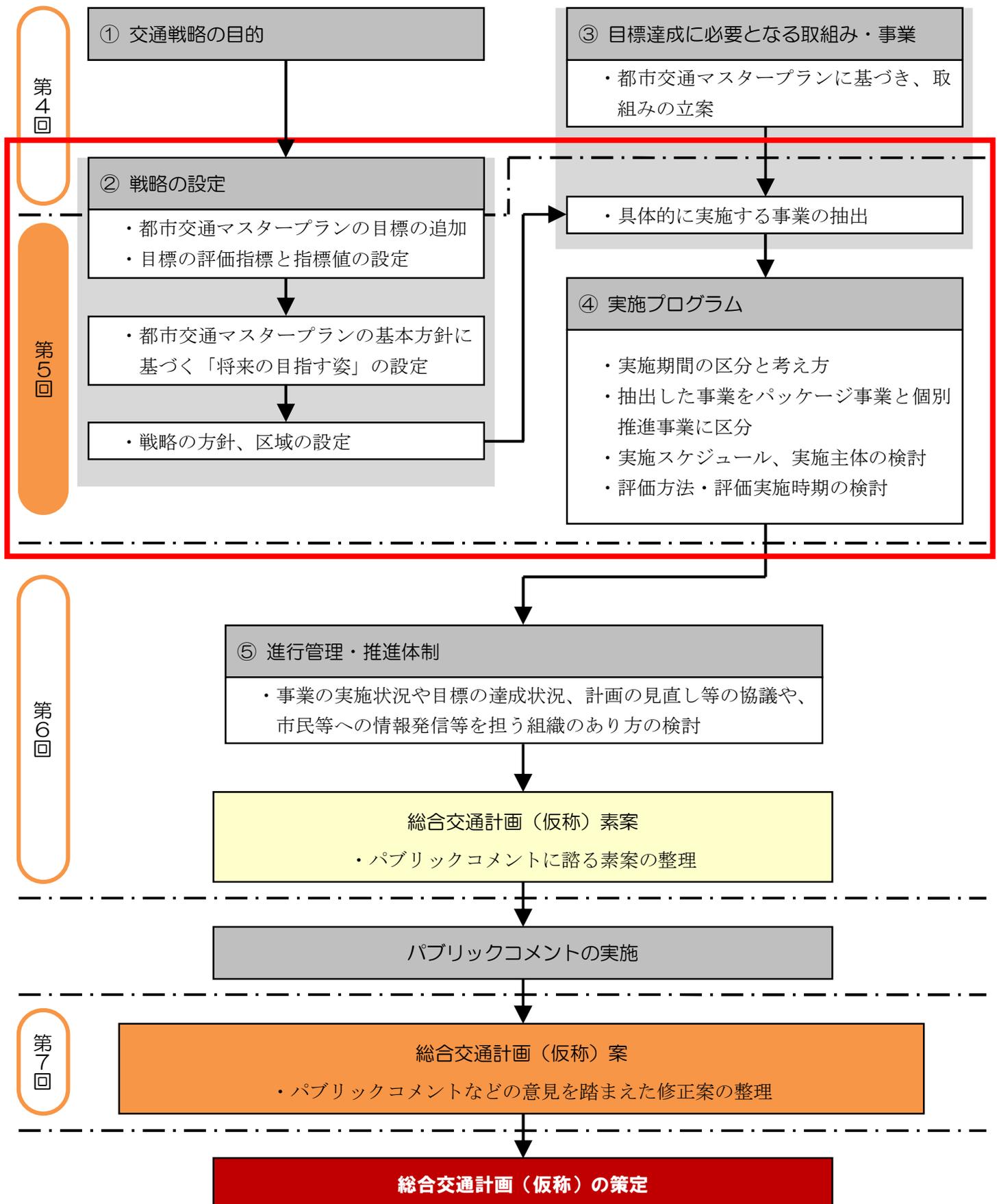


本日の検討事項及び前回会議における意見とその対応について

1.1 本日の検討事項



1.2 前回会議における意見とその対応について

区分	第4回委員会意見	意見に対する対応
整理の仕方	①基本方針と目標から5つの戦略がクロスして出てくるプロセスが分からない。目標を達成するために必要な事業が出てきていないように感じる。	都市交通マスタープランの基本方針に掲げる交通づくりをより明確にするために、基本方針2に目標を1つ追加した。 その上で、目標を達成するために、重点的に取り組むべき方向性を4つの戦略として設定し、戦略ごとに事業を抽出した。 目標と戦略の関連性については、その強弱を線の太さで明確にした。
	②「集約型都市構造の実現」と戦略のつながりが見えにくい。	
	③コンパクトシティを色々な角度で押し進める中で、事業候補を詰める時にはアウトラインが出てくるように整理した方が分かりやすい。	
	④基本方針1と2の両方に必要な取組みもあるが、無理やり1つに割り振っているため、分かりにくさに繋がっている。	
	⑤事業を並べる前に、どの程度目標を実現するか整理が欲しい。	都市交通マスタープランの目標に対する評価指標と指標値を設定した上で、目標達成に必要な取組み・事業を整理した。
	⑥事業を実施した場合にアウトカム指標がどう変わるかまで繋げる必要がある。	アウトカム指標は、戦略によって抽出した事業を実施した成果をできるだけ計ることができる代表的な指標を設定した。
パッケージ化	①戦略1・2・3は公共交通の利便性向上だけであり、対象を意識したパッケージ化が必要である。	重点的に取り組むべき方向性としてを4つの戦略として設定し、戦略ごとに事業を抽出した。 パッケージについては、今後のまちなかのまちづくり施策と連携した交通施策、本市のシンボルである路面電車とその沿線のまちづくりの2つを設定した。 また、パッケージ化しない事業は個別推進事業として整理した。
事業候補	①幹線を大切にするというブランディングも事業に位置付けると良い。	公共交通に対する価値や信頼性が高まるよう、ハード事業と連携しながら利用意識の改革や醸成などの事業を位置付けた。
	②自転車で豊橋駅の西口と東口の往來を良くする事業があると良い。	「豊橋駅東エリアと西エリアを結ぶ通行環境の向上」を事業として位置付けた。

区分	第4回委員会意見	意見に対する対応
スケジュール	①前期にできる事業に偏っているように感じる。	今後のまちづくり施策と連携して実施すべき交通施策や早期に実施すべき事業などを前期に位置付けた。なお、実施までに検討や調査に時間を要する事業などは後期や長期に位置付けるものの、前期から実施に向けた調整を行うことがわかるよう実施プログラムを作成した。
	②短期で実施するものと長期で実施するものが同じ時間軸で整理されている。	抽出した事業ごとに実施プログラムを作成し、計画期間の中で事業の実施時期を明確にした。
	③交通戦略の10年計画の中で、見直し時期の記載が必要と思われる。	事業の実施状況や目標の達成状況で進行管理や評価を行う中で、前期の最終年のH32を中間見直し時期に位置付けた。